

第 15 回 日本データベース学会通常総会議事録 (案)

日時：2016年6月18日(土) 午後 12:10 ～ 13:10

場所：楽天クリムゾンハウス

〒158-0094 東京都世田谷区玉川一丁目 14 番 1 号

出席者：出席者 233 名（委任状 214 名、総会出席正会員 19 名）

議題：

- 1) 2015 年度 事業報告ならびに決算について
- 2) 2015 年度 監査報告
- 3) 2016 年度 役員について
- 4) 2016 年度 事業計画および予算について

1. 司会の横田副会長から 第 15 回日本データベース学会通常総会の開会の辞が述べられ、通常総会が開始された。本総会は、日本データベース学会と一体運営を行っている ACM SIGMOD 日本支部の「2015 年度 ACM SIGMOD 日本支部年次事務会議」を兼ねていることが述べられた。本会定款 49 条の規定に基づき、通常総会の定足数は 161 名となること、および、出席者が委任状 214 名と総会出席の正会員数 19 名を足し合わせて 233 名となり定足数を満たしており、本総会が成立していることが宣言された。定款 48 条により北川会長を本通常総会の議長として選出した。
2. 議長の北川会長より、本学会の目的、体制の説明に続き、2015 年度事業報告として、各事業(*1)の活動内容について、それぞれ報告が行われた。続けて、北川会長より 2015 年度決算報告(*2)が行われた。
 - *1 論文誌刊行、研究推進、産学連携推進、表彰、企画、国際関係推進、男女共同参画推進、電子広報、情報システム、総会・理事会・評議会の各事業
 - *2 一般会計（収入、支出）、特別会計
3. 飯沢監事により 2015 年度の会計について、監査報告が行われた。安達監事および飯沢監事により 4 月 26 日に実施された監査の結果として、「2015 年度収支計算書について厳正に監査いたしました結果、適正に処理され妥当であることを報告いたします」との監査報告が行われた。拍手をもって、2015 年度事業報告、2015 年度決算報告および監査報告が承認された。
4. 北川会長より、2016 年度の新体制に関して、定款 15 条に基づいて選出された会長、副会長、監事、理事の各候補者について説明が行われた。拍手をもって各候補者が選任され、2016 年度は清木会長、飯沢副会長、川越副会長、山名副会長を中心とする新体制となることが承認された。
5. 北川会長より、2016 年度事業計画が報告された。2016 年度の事業として、論文誌刊行事業、研究推進事業、産学連携事業、表彰、企画・国際委員会活動、男女共同参画推進事業、電子広報事業、情報システム事業を継続し

て実施していくこと、及び、理事会・評議会・総会の開催計画について報告が行われた。

引き続き、北川会長より、2016年度収支予算(*3)が報告された。

拍手をもって、2016年度事業計画、及び、2016年度収支予算が承認された。

*3 2015年度と同様、一般会計（収入、支出）、特別会計

6. 横田副会長より、ACM SIGMOD 日本支部の活動に関し、2016年度については、役員任期が2年であるため、2015年度と同じ体制で継続して運営される旨の報告が行われた。
7. 北川会長より、退任の挨拶があり、会員、役員に対する感謝の言葉が述べられた。
8. 新会長に選出された清木副会長により就任の挨拶があり、日本データベース学会をビッグデータ、IoT、データサイエンスなどデータ関連の新しい技術を支える場として、アカデミズムの探求、社会への還元・提供、国際展開をしていきたいとの抱負が述べられた。
9. 横田副会長より、第15回日本データベース学会通常総会の終了が宣言され、閉会となった。

以上